

## 研究概要の情報公開原稿

### 腹膜播種及び腹腔洗浄細胞診陽性胃癌を対象とした多施設共同後向き観察研究

#### 【研究対象】

2008年1月1日から2012年12月31日の間に研究参加施設で審査腹腔鏡または開腹手術を行なっている、胃がんで腹腔洗浄細胞診陽性または腹膜播種あるいはその両方が判明している患者さんを対象としています。

#### 【研究の概要】

現在、胃がんにおいて Stage II/III の症例に対して手術後の術後補助化学療法として S-1 単独療法を1年間行うことが標準治療として確立しています。Stage IV 胃がんは基本的に切除不能ですが、同じ Stage IV であっても非治癒因子が腹腔内洗浄細胞診陽性 (CY1) や腹膜播種 (P1) のみの場合には、定型的な胃切除術が行われ、術後には補助化学療法に準じて S-1 単独療法を実施することが多く、上記と同様に術後補助化学療法としてフッ化ピリミジン+プラチナ製剤の併用療法が行われることが少なくありません。しかし肉眼的に治癒切除できた Stage IV 胃がん症例に対する補助化学療法の治療効果は不明であり、術前化学療法と手術先行での治療成績、術前化学療法での CY1, P1 の陰転化率も現状では不明です。

#### 【研究の目的】

今回の研究で腹腔洗浄細胞診陽性および腹膜播種陽性のみの胃がん患者さんにおける術後補助化学療法の効果を調査することで、補助化学療法の意義や適切な薬剤選択、そして今後の治療の発展に活かしたいと思います。

#### 【方法】

本研究参加施設の診療録の記録を用いて、上記対象患者さんの背景、治療成績や予後等について調査します。

#### 【個人情報保護に関する配慮】

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定できない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用 to 別途割り振

られた研究番号を使って管理し、個人情報が出ることはありません。調査終了後は元データを完全に削除します。また、このホームページにおいて研究について公開し、問い合わせ等に応じて、患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにします。診療録の利用を希望されない場合は、下記照会先までご連絡ください。

**【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

〒920-8530 石川県金沢市鞍月東 2-1

石川県立中央病院 消化器外科/内科 稲木紀幸/辻国広

TEL:076-237-8211 FAX:076-238-5366

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 消化器内科 山口敏史/高島淳生

TEL:03-3542-2511 FAX:03-3545-3567 内線 (7744/7764)

**【研究責任者】**

片井 均

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 胃外科